



ファンドの投資哲学と実質的な運用会社のご紹介

ポイント

- ① ファンドのパフォーマンス
- ② ファンドの投資哲学について
- ③ ACI（アメリカン・センチュリー・インベストメンツ）のご紹介

① ファンドのパフォーマンス

堅調なパフォーマンス

「野村米国ブランド株投資（通貨選択型）」（以下、ファンド）は、グローバルで高い成長力・競争力を有する米国企業に投資を行なうノムラ・カレンシー・ファンドーUS グロース・エクイティ・ファンドを投資対象としており、2011年3月に設定されました。2016年11月11日以降はアメリカン・センチュリー・インベストメンツ（以下、ACI）が実質的な運用を担っています。2016年11月11日以降、ファンドは様々なマーケットイベントを経験し、大きく下落する局面もありましたが、米ドルコース（毎月分配型）でみると米国の代表的な株式指数であるS&P500株価指数を上回るパフォーマンスとなりました。

次ページ以降、ファンドの投資哲学や、ACIについてご紹介をさせていただきます。

米ドルコース（毎月分配型）の基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2016年11月10日～2025年8月29日、日次

S&P500株価指数（配当込み、円換算）はファンドのベンチマークではありません。

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

② ファンドの投資哲学について

ハイクオリティ銘柄や、 成長加速が期待できる銘柄に投資

ファンドでは、「ハイクオリティ銘柄」に投資しています。運用チームが考える「ハイクオリティ銘柄」とは、①ブランド力等を背景とした競争優位性、②高い収益性、③高い成長性、④規模の優位性という4つの要素が相乗効果を生むことで循環していくようなビジネスを行なう企業を指します。ブランド力などがもたらす競争優位性は企業に価格決定力をもたらし、価格決定力は高い収益を生み出します。そして、創出された収益を関連ビジネス等へ投資する事でビジネスが拡大して規模の優位性が生まれ、競争優位性をさらに強化させます。このような循環を長期的に生み出せるビジネスを有するハイクオリティ銘柄を投資対象としています。

また、収益の質を精査することにより、成長率が高いだけでなく、利益水準の拡大につながる成長加速が期待できる株式への投資機会を探します。

ハイクオリティ銘柄の例「米アップル」

「ハイクオリティ銘柄」の例としては、製品ブランド力をはじめとした強力な競争優位性を長期にわたり維持し、ビジネス拡大させている米アップルが挙げられます。

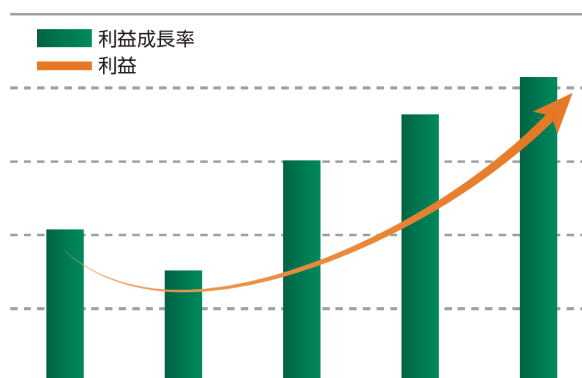
アップルの成長の転換点は、1997年のスティーブ・ジョブズ氏の復帰にあります。同氏の復帰後にデザイン性の高いiMacを発売し、その後音楽プレーヤーであるiPodを投入、またiTunesストアを開設するなど、周辺領域へ着実に事業を拡大しました。また、2007年にはiPhoneを投入するなど、現在のビジネスの基礎を築きました。その後、iPad、Apple Watchなどの製品をリリースしたほか、Apple Musicなどのサブスクリプション※ビジネスへもサービスの裾野を広げています。

※ 一定期間、定額を継続して支払い、製品やサービスを利用する仕組み。

ハイクオリティ銘柄の特徴（イメージ図）

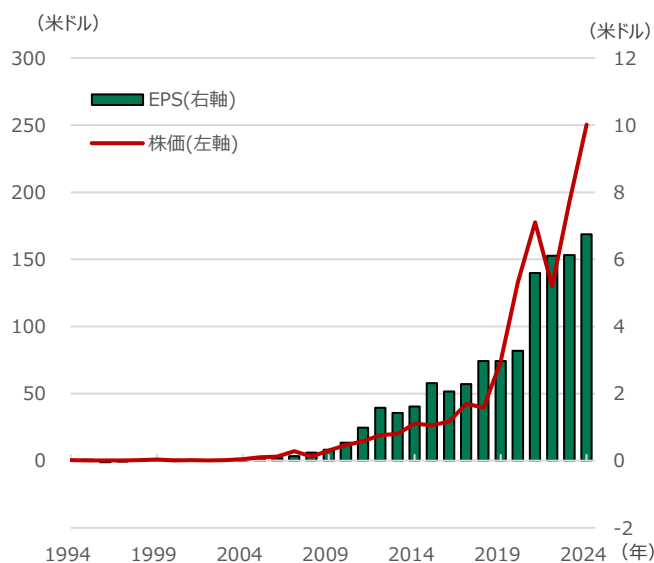


成長加速のイメージ図



ファンドは、銘柄選定にあたり成長の加速を重視しますが、上記のように成長率が急増することを選定の必須条件としているわけではありません。
（出所）ACIの提供資料を基に野村アセットマネジメント作成

アップルの株価と EPS（1株当たり利益）の推移



期間：1994年～2024年、年次
（出所）ブルームバーグのデータ、ACI提供データを基に野村アセットマネジメント作成

上記はファンドの投資哲学についての説明の一部であり、全てを網羅したものではありません。また、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。上記は、ファンドの運用方針に基づいた代表的な銘柄の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の推奨や株価の上昇・下落を示唆するものではありません。また、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

③ ACI（アメリカン・センチュリー・インベストメンツ）のご紹介

60年以上にわたるパフォーマンス重視の運用

ファンドの実質的な運用を行なうACIは、1958年の創業以来、安定した運用パフォーマンスの提供を目指してきました。運用資産残高は約40兆円となっており、世界9つの拠点において約200名の運用プロフェッショナルを含む1,400名超の従業員が在籍する運用会社です（2025年6月末時点）。

（ご参考）企業利益の多くを医学研究に拠出

ACIは世界社会貢献活動にも注力してきました。その代表例が、ACI本社の近郊にあるストワーズ医学研究所です。同研究所は、ACIの創業者であるジェームズ・E・ストワーズ ジュニアが、がんに罹患した自身の経験をもとに私財を寄贈して設立されました。全米屈指の規模を誇り、糖尿病やがん、アルツハイマー型認知症をはじめとする様々な領域における約150件の研究プロジェクトが進行しています。

同氏の理念を引き継ぎ、ACIは現在でも毎年利益の40%以上を株主配当として同研究所に分配しています。2000年以降、総額で約20億米ドルの資金が医学研究に役立てられています（2025年6月末時点）。

ACIの本拠地



アメリカン・センチュリー・インベストメンツ 本拠地
米国ミズーリ州カンザス・シティ

ストワーズ医学研究所の本拠地



ストワーズ医学研究所 本拠地
米国ミズーリ州カンザス・シティ

（出所）ACIの提供資料を基に野村アセットマネジメント作成

野村ホールディングスは、アメリカン・センチュリー・インベストメンツと戦略提携を結び、100%子会社を通じて出資を行なっています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。ストワーズ医学研究所はファンドの運用に関係ありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

(ご参考) アメリカン・センチュリー・ウルトラ・ファンドについて

ファンドの運用戦略の由来

ファンドの運用戦略は、40年以上の歴史を誇る米国籍投資信託「アメリカン・センチュリー・ウルトラ・ファンド」(以下、ウルトラ・ファンド) に由来します。ウルトラ・ファンドは米国でACIによって1981年に設定されましたが、テクノロジー企業を中心に市場平均を上回る成績を目指して運用が開始されました。1980年代から1990年代に良好なパフォーマンス等を背景に運用資産残高を拡大させ、広く支持されるファンドとなりました。その後運用環境の変化等に対応し、現在の運用戦略を確立させています。ウルトラ・ファンドはその時代の様々なハイクオリティ銘柄に投資して長期的にリターンを創出してきました。

ウルトラ・ファンドにおける保有上位銘柄の変遷

下記は、ファンドが投資対象とする外国投資信託と同様の運用体制・方針の米国籍ファンドの保有銘柄に関する情報です。ファンドの運用実績またはファンドが投資対象とする外国投資信託の運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてご理解ください。

1995年12月末時点	過去10年の 株価変化率(年率)
Sun Microsystems	+29.7%
3Com Corp	+32.1%
Cisco Systems, Inc.	+96.5%
Amgen Inc.	+48.7%
Bay Networks Inc.	+72.0%
Pfizer Inc.	+17.4%
Merck & Co., Inc.	+24.0%
Oracle Corporation	+46.7%
Ascend Communications Inc.	+589.8%
Intel Corporation	+27.8%

一部の銘柄は以下の通り株価変化率(年率)を算出しています。
Sun Microsystemsは1986年3月末、Cisco Systems, Inc.は1990年2月末、
Bay Networks Inc.は1991年7月末、Oracle Corporationは1986年4月末、
Ascend Communications Inc.は1994年5月末を起点に算出。

2005年12月末時点	過去10年の 株価変化率(年率)
Wal-Mart Stores Inc.	+15.5%
eBay Inc.	+54.1%
Teva Pharmaceutical Industries Ltd.	+22.2%
First Data Corp.	+9.9%
UnitedHealth Group Incorporated	+22.5%
Amazon.com, Inc.	+49.4%
Medtronic Plc	+15.2%
International Game Technology	+27.6%
Apollo Education Group, Inc. Class A	+27.9%
Dell Inc.	+39.4%

一部の銘柄は以下の通り株価変化率(年率)を算出しています。
eBay Inc.は1998年9月末、Amazon.com, Inc.は1997年5月末を起点に算出。

2015年12月末時点	過去10年の 株価変化率(年率)
Apple Inc.	+26.2%
Amazon.com, Inc.	+30.5%
Starbucks Corporation	+14.9%
Facebook, Inc.	+42.3%
Celgene Corporation	+22.1%
Gilead Sciences, Inc.	+22.6%
Alphabet Inc. Class A	+14.1%
Visa Inc. Class A	+23.0%
Alphabet Inc. Class C	+19.5%
UnitedHealth Group Incorporated	+6.6%

一部の銘柄は以下の通り株価変化率(年率)を算出しています。
Facebook, Inc.は2012年5月末、Visa Inc. Class Aは2008年3月末、
Alphabet Inc. Class Cは2014年3月末を起点に算出。

2024年12月末時点	過去10年の 株価変化率(年率)
NVIDIA Corporation	+74.9%
Apple Inc.	+24.7%
Amazon.com, Inc.	+30.3%
Microsoft Corporation	+24.7%
Alphabet Inc. Class C	+21.9%
Tesla, Inc.	+39.2%
Alphabet Inc. Class A	+21.7%
Mastercard Incorporated Class A	+19.8%
Meta Platforms Inc Class A	+22.3%
Netflix, Inc.	+33.7%

過去10年の株価変化率(年率)の計算期間は、各時点から遡った期間です。一部の銘柄については各時点において上場後10年に満たない等の理由により、取得可能な最大期間の株価データを基に株価変化率(年率)を算出しています。計算期間において継続して各銘柄を保有していたことを意味するものではありません。
(出所) ブルームバーグおよびファクトセットのデータ、ACIの提供データを基に野村アセットマネジメント作成。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。また、**ファンドの運用実績ではありません。**ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

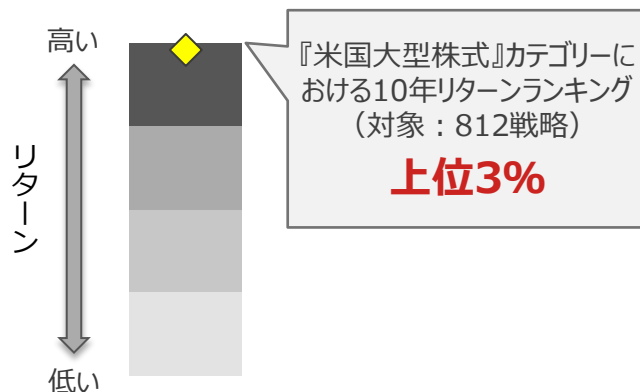
* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

ファンドの運用戦略のパフォーマンス

ウルトラ・ファンドで確立された運用戦略は、米国優良成長株戦略（U.S. Premier Large Cap Growth戦略）（以下、当戦略）と名付けられ、米国の個人投資家のみならず、米国内外の様々な投資家へ提供が行なわれており、当戦略全体の運用残高は2025年7月末時点で約5.5兆円となっています。

当戦略は過去10年間で見ると、『米国大型株式』カテゴリーにおけるリターンランキングにおいて、対象となる812戦略の中で上位3%のパフォーマンスとなりました。

当戦略の実績



eVestmentの『米国大型株式』カテゴリーにおいて、2015年7月の月次リターンから2025年6月の月次リターンまで運用実績（費用控除前）のある812戦略の月次データを基に算出。

（出所）eVestmentのデータを基に野村アセットマネジメント作成

当戦略のパフォーマンスの推移（米ドルベース）



期間：1989年12月末～2025年7月末、月次

当戦略は、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬率である年0.75%を控除して算出しています。

（出所）ブルームバーグのデータ、ACIの提供データを基に野村アセットマネジメント作成

上記は当戦略のコンポジットのパフォーマンスを表しています。過去のコンポジットの運用実績であり、ファンドの運用実績またはファンドが投資対象とする外国投資信託の運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてご理解ください。

コンポジット（Composite：合成を意味する英単語）とは、運用パフォーマンス測定のために複数のファンドを加重平均してまとめたものをいいます。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

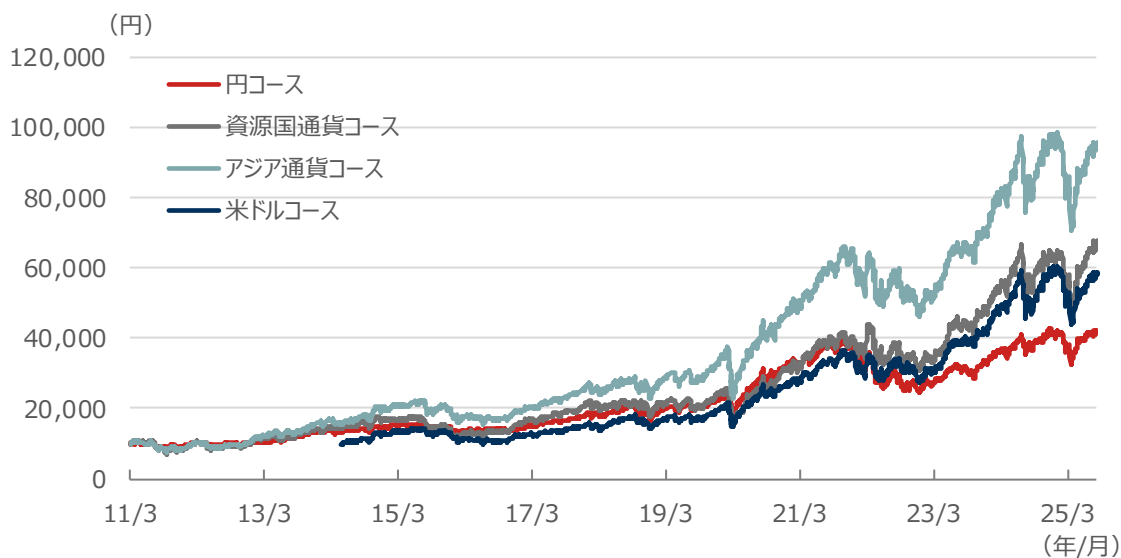
ファンドの運用状況

基準価額（分配金再投資）の推移

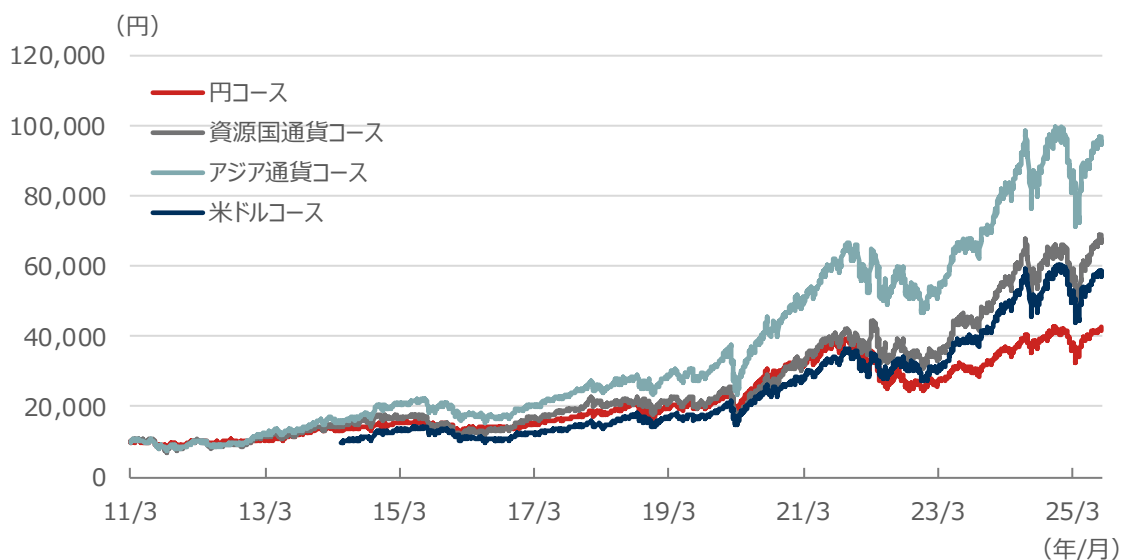
期間：2011年3月23日（設定日）～2025年8月29日、日次

*「米ドルコース」の設定日は2014年5月12日です。

<毎月分配型>



<年2回決算型>



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料で使用した指数について

● S&P500株価指数は、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャルサービシズエルエルシーの所有する登録商標です。● ラッセル1000グロス指数は、フランク・ラッセル・カンパニーの登録商標です。

分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。

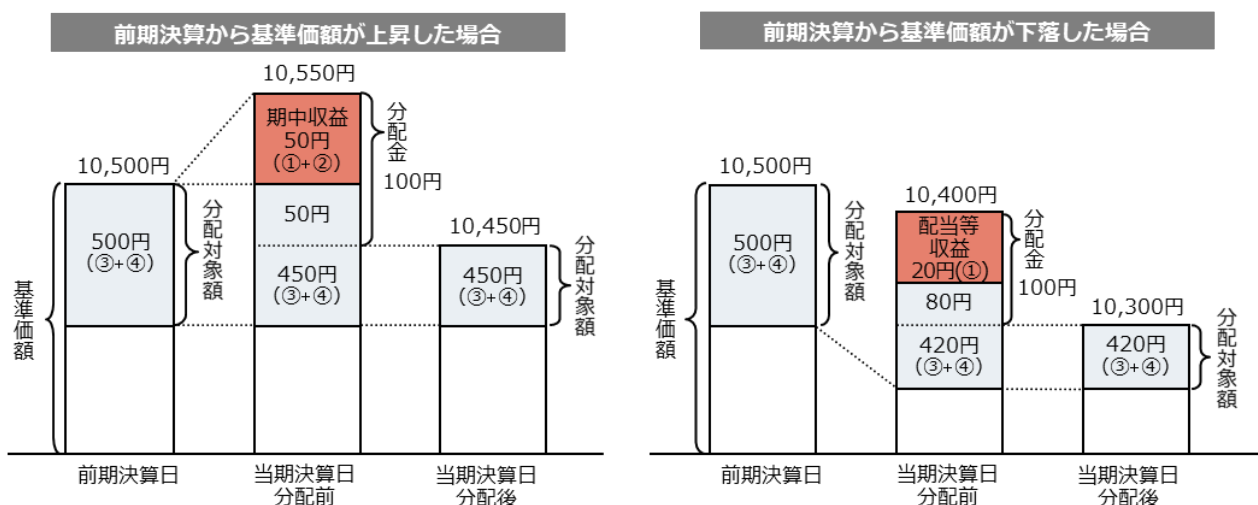


- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

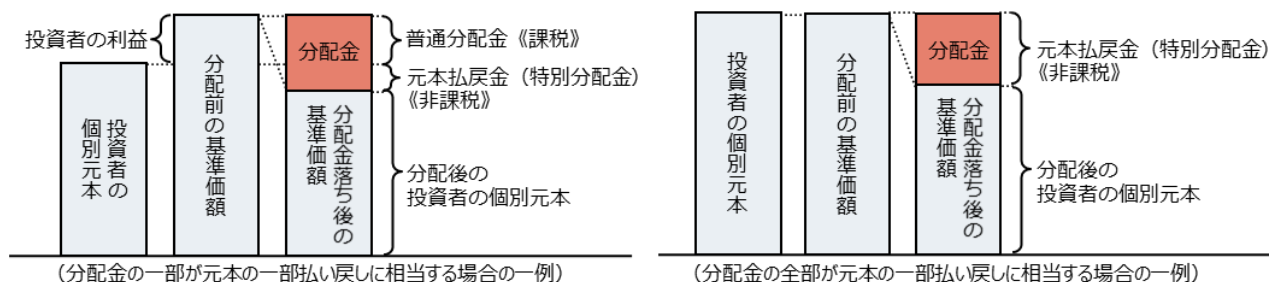
分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金（特別分配金）	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金（特別分配金）となります。

- ◆ 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

「野村米国ブランド株投資(通貨選択型)」

【ファンドの特色】

- 「野村米国ブランド株投資(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる4つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。

※ファンド名にある「米国ブランド株」とは、米国の金融商品取引所に上場している、グローバルで高い競争力・成長力を有する企業の株式を指します。

- 各コースは、米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を実質的な主要投資対象※とし、高水準のインカムゲインの確保(円コースを除く)と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- 円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

- ◆通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンド」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- ・「ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンド」には、為替取引手法の異なる4つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース※ ¹ (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
資源国通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引※ ² を行ないます。
アジア通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売りアジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引※ ² を行ないます。
米ドルコース※ ¹ (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。

※¹ 2026年2月13日付にて、以下の通りファンド名を変更する予定です。

変更前のファンド名称: 野村米国ブランド株投資(円コース) 毎月分配型/年2回決算型、野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 毎月分配型/年2回決算型

変更後のファンド名称: 野村米国ブランド株投資(為替ヘッジあり) 毎月分配型/年2回決算型、野村米国ブランド株投資(為替ヘッジなし) 毎月分配型/年2回決算型

なお、当該変更に伴い、運用手法や運用方針等の商品性に変更はありません。

※² 保有する米ドル建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

- 「野村米国ブランド株投資(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。なお、資源国通貨コース、アジア通貨コースへのスイッチングはできません。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。

ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

◆年2回決算型

原則、毎年2月および8月の17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村米国ブランド株投資(通貨選択型)」

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間
2026年2月17日まで
資源国通貨コース、アジア通貨コース 2011年3月23日設定
2031年2月17日まで
円コース（毎月分配型） 2011年3月23日設定
米ドルコース（毎月分配型） 2014年5月12日設定
無期限
円コース（年2回決算型） 2011年3月23日設定
米ドルコース（年2回決算型） 2014年5月12日設定
- 決算日および収益分配
【毎月分配型】年12回の決算時（原則、毎月17日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時（原則2月および8月の17日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額
●ご購入単位
ご購入申込日の翌営業日の基準価額
一般コース：1万口以上1万口単位（当初元本1口＝1円）または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース：1万円以上1円単位
※分配金の再投資および積立による継続購入等を除き、資源国通貨コース、アジア通貨コースの購入のお申込みはできません。
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額
●スイッチング
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※資源国通貨コース、アジア通貨コースへのスイッチングのお申込みはできません。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日
販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
○「円コース」、「資源国通貨コース」、「米ドルコース」
・申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合
ニューヨークの銀行 ニューヨーク証券取引所 ロンドンの銀行 ルクセンブルクの銀行
○「アジア通貨コース」
・申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合
ニューヨークの銀行 ニューヨーク証券取引所 ロンドンの銀行 ルクセンブルクの銀行 ジャカルタの銀行
・申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合
個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。
ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。
- 課税関係
円コース（年2回決算型）、米ドルコース（年2回決算型）は、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。
円コース（毎月分配型）、米ドルコース（毎月分配型）、資源国通貨コース、アジア通貨コースは、NISAの対象ではありません。
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】 (2025年9月現在)

◆ご購入手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.023%（税抜年0.93%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.773%程度（税込） （注）ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、 ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 （ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

https://www.nomura-am.co.jp/



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

* ご購入およびスイッチングに関する留意事項

資源国通貨コース（毎月分配型／年2回決算型）およびアジア通貨コース（毎月分配型／年2回決算型）は、2026年2月17日に信託期間が終了いたします。スイッチングを含めた新規買付のお申込みはできません。

野村米国ブランド株投資(通貨選択型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。